

宮古毎日新聞

薬物依存の怖さ訴え

森さん、北中で防止教室

北中学校で19日、薬物乱用防止教室が開かれた。薬物依存症回復施設「沖縄タークルリハビリテーションセンター」のディレクター森

廣樹さんが講話し、薬物を使用することの愚かさや依存の怖さを訴えた。この教室は、生徒たちの薬物の使用を防止し、健康

な生活を実践しようとする態度を身に付けさせること



薬物乱用と依存の怖さを語る森廣樹さん=19日、北中学校

を狙いに開いた。

森さんは「薬物依存症は治らない。一生治癒しない病気だ」と強調。「リハビリやケアをしないと死んでしまうこともある」などと注意を促した。

薬物依存症に苦しむ人

が年々増えている実態を詳しく説明し、「暴力団関係者を含め」昔はアウトロローの人が多かったが、今はごく普通の人が依存症になる例が多い」と話した。

自らの体験も含めて薬物

決にもならない。問題を先延ばしにするだけだ。簡単に依存症になり、一生治らないということをお忘れしないでほしい」と語った。

一方で「依存症になってしまったとしても回復の道はある。(薬物を)使って

を使用しないよう強く訴えた。これから社会に出るといろいろな誘惑があるかもしれない」と話し、薬物に遭遇しやすい社会環境を指摘。ただ、「寂しさやつらい気持ちを紛らわすために薬物を使用しても何の解